

連続研究会「ウクライナ情勢を背景とする国際秩序の変容」

ウクライナ難民とEU —難民受入の制度と政治—

ロシアがウクライナへの侵攻を開始して以来、ウクライナからEU加盟国に逃れた難民は500万人を越え、EUが歴史上受け入れてきた難民数としては最多となっている。

EUはこうした難民をいかに受け入れているのだろうか。

EUにはいかなる難民受入の制度が存在し、EUや加盟国はそれらをいかに使用しているのだろうか。

本報告は、EUによる難民受入のあり方を批判的に検討する。

2022年7月25日(月)

15:30~17:00

ZOOMによるオンライン研究会

■報告者

大道寺隆也 青山学院大学法学部准教授

■コメント・司会

中山裕美 東京外国語大学大学院
総合国際学研究院 准教授

お問い合わせ先:

東京外国語大学
国際関係研究所 事務局
iir-office@tufs.ac.jp

本企画は2022年度 東京外国語大学研究AO研究プロジェクトの
支援を受け実施されています